

レベル 1

言い換えメーカー



★お題の文章を別の言い方に書き換えてみよう。
だいたいの意味が同じように通じる文章なら OK!

ヒント:①方言にしてみる ②易しい(小さな子にも分かるような)言い方にしてみる

③楽しい、ふざけた言い方にしてみる ④おしゃべりする時の言い方にしてみる

お題

公園でブランコに乗っていると、体の大きいお兄さんが近くに来て「ブランコかわってよ」と言った。
心の中では「え～いやだな」と思ったけれど、体の大きなお兄さんは少し怖いのでゆずった。

次の日、公園に行ったらそのお兄さんがブランコに乗っていた。
私の方を見てニコツとして、「昨日はありがとう。ブランコどうぞ」とかわってくれた。
とってもやさしいお兄さんだったんだと分かって、とてもうれしかった。

言い換え

レベル2

言い換えメーカー



★お題の文章を別の言い方に書き換えてみよう。
だいたいの意味が同じように通じる文章なら OK!

ヒント:①方言にしてみる ②易しい(小さな子にも分かるような)言い方にしてみる

③楽しい、ふざけた言い方にしてみる ④おしゃべりする時の言い方にしてみる

お題

この体育館を使うためのルールを説明します。

まず、借りる時は必ず受付に来て「申込書」を記入します。受付時間は9:00~17:00です。

料金は、1時間 300 円です。申し込みの時に先にお金を払う決まりになっています。

体育館を使う時は換気のために窓を開けてください。エアコンの設定は変えないでください。

飲み物の持ち込みはできますが、食べ物を食べるのは禁止です。体育館を汚したら掃除してから帰ってください。

使い終わった後は忘れ物がないかよく確認して、ゴミは必ず持ち帰ってください。

言い換え

レベル3

言い換えメーカー



★お題の文章を別の言い方に書き換えてみよう。
だいたいの意味が同じように通じる文章なら OK!

ヒント:①方言にしてみる ②易しい(小さな子にも分かるような)言い方にしてみる

③楽しい、ふざけた言い方にしてみる ④おしゃべりする時の言い方にしてみる

お題

その日、僕は絶望していた。大事な試験の日だというのに、朝から体調が悪かったのだ。
おまけに緊張もして、試験が始まる前からずっとお腹が痛かった。
青ざめた顔で席についていると、誰かにトントンと肩をたたかれた。
振り向くと親戚のあけみちゃんだった。そういえば同じ試験を受けると言っていたっけ。
「緊張するね、頑張ろうね」と言って、「寒いからこれあげる」とカイロをくれた。
明美ちゃんの優しい笑顔を見て緊張がほぐれたのか、体調も回復して僕は無事に試験を受けることができた。
やっぱり、心と体は繋がっているんだなあ。

言い換え

レベル4

言い換えメーカー



★お題の話を「現代バージョン」の話に書き換えてみよう。
(話の展開が似ていたら、もちろん話の内容は変わってしまってもいいよ!)

お題

むかしむかしあるところに、仲の良い老夫婦がいました。
ある日、おじいさんは山へ芝刈りに、おばあさんは川へ洗濯に行きました。
すると川上から大きな桃がどんぶらこどんぶらこと流れてきました。
おばあさんは驚いてそれを持ち帰り、割って中を見てみるとなんと中から男の子の赤ちゃんが出てきました。
その子に「桃太郎」という名前を付け、老夫婦は大切に育てました。
桃太郎が大人になった頃、村では鬼が悪さをして人々が困っていました。
桃太郎は老夫婦への恩返しをするため、サル、犬、キジを子分として引き連れ、鬼を立派に退治しました。
そして、村の人々に感謝されながら、老夫婦と幸せに暮らしました。

言い換え

言い換えメーカー



★お題の文章を別の言い方に書き換えてみよう。
だいたいの意味が同じように通じる文章なら OK!

ヒント:①方言にしてみる ②易しい(小さな子にも分かるような)言い方にしてみる

③楽しい、ふざけた言い方にしてみる ④おしゃべりする時の言い方にしてみる

お題

公園でブランコに乗っていると、体の大きいお兄さんが近くに来て「ブランコかわってよ」と言った。
心の中では「え～いやだな」と思ったけれど、体の大きなお兄さんは少し怖いのでゆずった。

次の日、公園に行ったらそのお兄さんがブランコに乗っていた。
私の方を見てニコツとして、「昨日はありがとう。ブランコどうぞ」とかわってくれた。
とってもやさしいお兄さんだったんだと分かって、とてもうれしかった。

言い換え

方言パターン。

話し言葉だと、口に出しながら書くと書きやすいよ。

公園でブランコに乗るとる時にでかめのお兄さんが近づいてきて、
「ブランコかわって」って言ってきたんやて。
本音は「え～嫌やし」と思っとったけど、でかいお兄さん怖いやんか。
だから譲ったわけ。

次の日に公園行ったらまたそのお兄さんおってさ。ブランコ乗っとったの。
で、うちの方見てニコツして、「昨日はありがと、ブランコ乗らん？」ってかわってくれたの。
やさしいお兄さんやって分かって、めっちゃうれしかった。

言い換えメーカー



★お題の文章を別の言い方に書き換えてみよう。
だいたいの意味が同じように通じる文章なら OK!

ヒント:①方言にしてみる ②易しい(小さな子にも分かるような)言い方にしてみる

③楽しい、ふざけた言い方にしてみる ④おしゃべりする時の言い方にしてみる

お題

この体育館を使うためのルールを説明します。
まず、借りる時は必ず受付に来て「申込書」を記入します。受付時間は9:00～17:00です。
料金は、1時間 300 円です。申し込みの時に先にお金を払う決まりになっています。
体育館を使う時は換気のために窓を開けてください。エアコンの設定は変えないでください。
飲み物の持ち込みはできますが、食べ物を食べるのは禁止です。体育館を汚したら掃除してから帰ってください。
使い終わった後は忘れ物がないかよく確認して、ゴミは必ず持ち帰ってください。

言い換え

子ども向けの言い方にしたパターン。最初から最後まで口調が統一されているかチェック。

今から、このお部屋を使うにはどうしたらいいか、お話していくよ～！
このお部屋を使いたいときは、「うけつけ」って書かれた場所で紙をもらって書いてね。
「うけつけ」は朝9時から夕方5時まであいているよ。

お金は1時間使うのに300円かかるよ。2時間だったら600円だね。
お金は使う前に先に払うことになっているよ。

このお部屋にいる時は窓を開けてね。エアコンは触らないようにしようね。
お茶やジュース、飲み物は持ってきてもいいよ。食べ物はやめてね。
もしこのお部屋をよごしてしまったら、きれいにお掃除してから帰ろう。

お部屋から出る時は、忘れ物ないかな？ってよく見てみよう。
ゴミもきれいに持ち帰ってね。

言い換えメーカー



★お題の文章を別の言い方に書き換えてみよう。
だいたいの意味が同じように通じる文章なら OK!

ヒント:①方言にしてみる ②易しい(小さな子にも分かるような)言い方にしてみる

③楽しい、ふざけた言い方にしてみる ④おしゃべりする時の言い方にしてみる

お題

その日、僕は絶望していた。大事な試験の日だというのに、朝から体調が悪かったのだ。
おまけに緊張もして、試験が始まる前からずっとお腹が痛かった。
青ざめた顔で席についていると、誰かにトントンと肩をたたかれた。
振り向くと親戚のあけみちゃんだった。そういえば同じ試験を受けると言っていたっけ。
「緊張するね、頑張ろうね」と言って、「寒いからこれあげる」とカイロをくれた。
明美ちゃんの優しい笑顔を見て緊張がほぐれたのか、体調も回復して僕は無事に試験を受けることができた。
やっぱり、心と体は繋がっているんだなあ。

このくらいだけた言い方にすると、書くのも楽しいかな？

言い換え

書くのが苦手な人はこんな感じからでも◎

いやほんと、その日はマジでやばかった。大事な試験の日なのに朝からしんどくて。
緊張もしてたから試験がスタートする前から腹痛くてさ。
顔真っ青で座ってたらず肩たたかれて、振り返ったら親戚の明美ちゃんだったの。
「緊張するね、頑張ろうね」って言ってくれて、「寒いからこれあげる」ってカイロまでくれたの。
うわ～優しいなあって思って癒されてさ、そしたらなんかいつの間にかお腹痛くなくなって、
体調良くなって、たぶん緊張がほぐれたおかげなんだろうな。
そのおかげで試験もなんとか受けられてさ。
やっぱ、心と体は繋がってるんだなってあらためて思ったよね。

レベル4—回答例

言い換えメーカー



★お題の話を「現代バージョン」の話に書き換えてみよう。

(話の展開が似ていたら、もちろん話の内容は変わってしまってもいいよ!)

お題

レベル4だけルールが違うよ。難しいけど挑戦してみて!

むかしむかしあるところに、仲の良い老夫婦がいました。
ある日、おじいさんは山へ芝刈りに、おばあさんは川へ洗濯に行きました。
すると川上から大きな桃がどんぶらこどんぶらこと流れてきました。
おばあさんは驚いてそれを持ち帰り、割って中を見てみるとなんと中から男の子の赤ちゃんが出てきました。
その子に「桃太郎」という名前を付け、老夫婦は大切に育てました。
桃太郎が大人になった頃、村では鬼が悪さをして人々が困っていました。
桃太郎は老夫婦への恩返しをするため、サル、犬、キジを子分として引き連れ、鬼を立派に退治しました。
そして、村の人々に感謝されながら、老夫婦と幸せに暮らしました。

言い換え

ちょっと前に祖母に聞いた話なのですが、
うちの祖父と祖母の夫婦は今年70歳のなかなかの高齢で、
でも未だに祖父は自営業でばりばり働いているし、祖母は朝から一人で洗濯をこなすような
元気な夫婦です。
でも先日、祖母が洗濯をしていたら、洗濯機の中からスマホが出てきて、
びっくりして見てみたら、防水仕様だったみたいで電源がついて、その待ち受けが若い男の子だっ
たそうなんです。
それでそのスマホを壊さないように大切に保管していたら、祖父の知り合いの人のものが、
祖父の上着のポケットに紛れ込んだということが分かって。
後日待ち受けの若い男の子がスマホを取りに来て、一緒に連れてきたお友達と一緒に
庭仕事や粗大ごみの運び出しなどの、祖父母には難しい力仕事をたくさんやってくれたそうです。
そして、今でも仲良く交流が続いていると言っていました。なんだか素敵な話ですね。